

## 「磁石の不思議な世界～聞いて、さわって、体験しよう～」 第16回公開講演会報告

(公社)日本磁気学会 総務委員会

去る2013年3月2日(土)に、千葉大学けやき会館において、(公社)日本磁気学会第16回公開講演会「磁石の不思議な世界～聞いて、さわって、体験しよう～」を千葉市教育委員会、日立金属(株)、(株)高純度化学研究所、(株)日立ハイテクノロジーのご後援、ご協力を頂き開催しました。今回は、千葉市教育委員会のご協力で、千葉大学周辺の小学校向けに参加者を募集したところ、小学生とその父兄ほかあわせ115名の方が参加されました。

講演会当日は桐野総務理事のご挨拶にはじまり、講師としてお招きした(株)東芝ストレージプロダクツ事業部の田口知子氏に「磁石の性質」というタイトルで、磁石の基本的な性質と磁石は永久磁石に代表される“かたい磁石”と鉄釘などに代表される“やわらかい磁石”に分離できることを中心にご紹介された。また、電磁石やモーターなどの世の中で活躍している製品についても紹介され、約40分の講演をしていただきました。講演は子供たちの多大な興味を引いて、子供たちは積極的に質問する場面もありました。非常に勉強になった講演会と思います。

講演終了後に、子供たちに6つの班に分かれてもらい、「動く液体？磁気スライムを作ろう!」、「切符の裏の秘密の模様とは・・・」、「ハードディスクを分解しちゃった!」、「発電機とモーターの違いって?」、「磁石で音を鳴らしてみよう!」、「磁石の工作を楽しんじゃおう!」の計6コーナーを体験してもらいました。参加者数も多く、大きな会場いっぱいの子供たちが興味津々の表情で体験コーナーをめぐっていたことや、積極的にコーナーの先生方に質問をする姿が大変印象的でした。パソコンなど身の回りの情報機器に使われるハードディスクの中身、モーターと発電機の構造の違い、磁石でできたスライムの作成、磁石が描く奇妙な模様の観察など、磁石の魅力を存分に実感してもらえたのではないかと思います。今回参加いただいた方々にアンケートを記入していただいた結果、体験コーナーのスライム作りは子供達には圧倒的な人気であった。また今後もこのような講演会に参加したいと答えた児童はほぼ全員であり、講演を開催したスタッフにとって大変嬉しい結果となりました。閉講式では、講演や体験を通して磁石の不思議さに気づき磁石に詳しくなったということで、杉田総務理事より「じしゃく博士」認定証を一人ずつ子供たちに贈呈し、杉田総務理事より続いて閉会にあたり御礼の挨拶を行いました。

今回の第16回公開講演会ではわずか3日で定員の50名を大幅にオーバーしたため定員を10名追加した。小学校では、科学好きな子供たちは多いと実感しました。今回会場手配等でご協力いただいた千葉大学の山田総務委員には感謝いたします。また、日本磁気学会としてご協力いただきました学会事務局にも感謝いたします。このように

盛況のうちに閉会することができたことは、総務委員オーガナイザとして大変うれしい気持ちです。また、公開講演会の準備でご協力いただいた皆様ほか、第16回講演会にご協力いただいた全ての皆様・参加していただいた皆様に紙面を借りて改めてお礼申し上げます。次回第17回公開講演会は、北海道大学において9月7日(土)の開催を予定しております。

(総務幹事:早川 純)